



平成26年度 1級舗装施工管理技術者試験 〔一般試験〕解答試案

問	解答	ポイント解説	問	解答	ポイント解説
1	1	水平排水層は地下排水工である	31	1	表面の余剰セメントミルクは除去
2	3	(1)気泡混合軽量土は自硬性あり(2)発泡ウレタンは住宅用断熱材(4)発泡スチロールブロックは自立性あり	32	2	転圧して目地砂を十分に充填させる
3	1	基礎地盤及び地山に支持された構造	33	4	スクリードの高さ調整で行う
4	2	振動ローラが適している	34	2	ひび割れ率、わだち掘れ量、平坦性
5	4	樹冠外側の新生枝を切り詰める剪定法	35	3	ブリスタリングの説明
6	1	監督員に通知し、確認を請求	36	4	樹脂系材料によるすべり止め舗装の説明
7	3	発注者が変更内容を受注者に通知する	37	2	散水、舗装冷却装置の使用など
8	4	線形決定の説明	38	2	労働基準監督署に届ける場合がある
9	1	補修が容易であり、適している	39	1	発注者が作成する
10	1	舗装に疲労破壊によるひび割れが生じるまでに要する回数	40	3	計画→実施→検討→改善
11	4	表層基層20.0cm+上層路盤10.5cm+下層路盤11.3cm=41.8cm	41	4	所要日数が最も長い経路
12	1	両者はひび割れ分散の目的で用いる	42	1	請負金総額で除す
13	3	施工は一般のAs舗装に準じる	43	3	道路管理者及び所轄警察署長
14	2	碎石の品質規格を満たせば使用できる	44	2	労働災害である
15	4	(1)針入度で分類(2)プレミックスタイプ(3)浸透用石油As乳剤	45	1	幅員は5.5m以上
16	3	修正CBRは80%以上、PIは4以下	46	3	点の並び方にクセがある場合も、工程に異常があると考え
17	1	(2)粒度は中央値以下(3)As量は中央値から下限値の範囲(4)流動対策	47	4	(1)最大乾燥密度の93%以上(2)94%以上(3)基準密度
18	2	片面50回の突固め	48	2	施工前に実施する
19	4	早強ポルトランドセメントを使用	49	3	標準養生の供試体を用いた管理データによる確認
20	3	表層にAs混合物、基層にコンクリート版	50	4	材料の使用量と舗装面積で確認
21	4	修正CBRは低下する傾向にある	51	1	マンホール部分のデータは含めない
22	1	油蒸気に引火する温度	52	3	平板載荷試験により求める
23	3	六価クロムの溶出はセメント安定処理	53	2	(1)その後30日間(3)7日以内(4)満18才に満たない者
24	2	施工端部を乱してから打ち継ぐ	54	4	事業者が定める
25	2	運搬車を移動させて平均に積み込む	55	2	1ヶ月以内に
26	4	1時間以内	56	1	政令で定める
27	2	無振で1往復、有振で2往復程度	57	3	5台以上で安全運転管理者、20台以上で副安全運転管理者を選任
28	1	線圧の小さなローラを用いる	58	4	環境基本計画は政府が定める
29	3	既設舗装上に乗せて	59	2	ブルドーザは出力40kW以上
30	4	荒仕上げ→平たん仕上げ→粗面仕上げ	60	3	2地点間の最大距離は共に50m



技術検定研修協会

仙台市青葉区二日町13-22カルコス仙台ビル306

■TEL.022(346)6251
■FAX.022(266)0868